



今日は、8時30分にクリーブランド高校に集合し、ナジービーチに向かった。まず、池の生物の採集と観察・同定を行った。網で池の表面を水草とともにすくいあげて、バットに水棲生物を振るい入れた。そして、虫眼鏡で観察と同定をした。糸トンボの幼虫やメダカのような魚、エビ、ヒル、ノミの仲間などがいた。水棲生物より水はきれいだということが分かった。



環境教育センターでは、モーニングティーの果物をいただいてから、汽水域に生息するカニについて講義を受けた。カニの左のはさみは切るため、右のは砕くためのものであることや、オスとメスの形態の違い、空気中では息をする音が聞こえることなど、分かりやすく教えてもらった。その後、フグとヤドカリを触った。日本と同様、フグは調理するのに免許が必要なのだが、ほとんど持っている人がいないため、ここではフグは食べられないそうだ。



昼食後、ビーチへ行った。昨日は雨が降っていたせいか、海は濁っていて茶色だった。干潮で、潮が引いているところにいる生物の採集と観察をした。小さなエビやヘイタイガニなどがたくさんとれた。ヘイタイガニの名前の由来は、列をなして歩く様子が兵隊のように見えるからだを知った。また、甲羅が青く見えるのは、青い血が透けて見えるからであることも学んだ。センターに戻るとき、多くのカニが、私たちのことを大きな岩か何かだと勘違いして、慌てて砂に潜る様子が面白かった。

